

目次

序章 いま、協同組合労働を考える

芝田進午

——協同組合と協同組合労働の現実から出発して

I 協同組合運動の発展

..... 四

1 生協を中心とする協同組合運動の大きな発展

..... 四

2 八〇万人を越える協同組合労働者

..... 六

II 協同組合運動への新しい動向

..... 六

1 「労働者協同組合」「生産協同組合」の発展

..... 六

2 生協の新しい動向と産地直結活動の進展

..... 三

3 文化協同組合への模索

..... 三

4 協同組合労働者の増大の意義

..... 三

第一章 生協で働くこと、生きること

西村一郎

——生活協同組合労働の現実と展望

I ある日の共同購入

..... 三

II 生協労働者の形成

..... 三

1 地域生協における労働者の形成

..... 三

初期の市街地購買組合	三〇
関消連常務者会の設立	三一
灘購買生協	三三
2 大学生協における労働者の形成	三三
大学の初期における消費組合	三四
組織的な賃金労働者の出現	三五
全学の力に支えられた大学生協労働者	三六
3 今日を生協をになう人びと	三六
一〇〇〇万人をこえる組合員	三六
生協で生活収入を受けている人びと	三六
賃労働以外で生協を支える人びと	三六
III 生協労働の状態はどうなっているか	三六
1 労働時間の実状	三六
2 労働の質はどう変化しているか	三六
3 賃金の実状	三六
生協と民間との賃金比較	三六
賃金の実態	三六
収入にたいする職員の評価	三六
4 民主的な権利はどうなっているか	三六
労働組合への組織化	三六

	女性労働者をとりまく状況	……………	七〇
	パート職員をとりまく状況	……………	七〇
	人事・教育制度	……………	七〇
	現場職員の意識	……………	七〇
IV	これからの生協労働の課題と展望	……………	七〇
1	どのような課題が提起されているのか	……………	七〇
	労働時間の短縮	……………	七〇
	民主的賃金体系の確立	……………	七〇
	職場運営の民主主義化	……………	七〇
	教育の強化	……………	七〇
2	生協における労働と発達	……………	七〇
	職場におけるシステム化と能力の発達	……………	七〇
	地域の組織化と人格の発達	……………	七〇
	憲法理念の実現をになう労働	……………	七〇
第二章	農協で働くこと、生きること	……………	七〇
	——農業協同組合労働の現実と展望	……………	七〇
	はじめに	……………	七〇
	——対象の限定	……………	七〇
I	総合農協の歴史とその事業	……………	七〇
	鈴木文熹	……………	七〇

1	総合農協の戦前と戦後	六
2	農協の組合員とは	六
3	総合農協の事業内容とその力量	七
II	農協労働者の一日を垣間みる	七
1	まるで信用金庫に勤めているような労働	七
	——山口市農協・岩本順子さん	
2	信州高森農協の畜産技術員	九
	——富永渡君の一日	
III	農協労働者の組織状況と労働の状態	一〇
1	農協労働者組織化の進展の足取り	一〇
2	農協労働者の状態はどうなっているか	一〇
	労働時間の実状	一〇
	賃金の実状	一〇
	労働力構成の特徴	一四
IV	農協における労働の性格と民主主義	一〇
V	農協の協同組合への再生・創造への芽	一三
	——むすびにかえて	

第三章 事業団で働くこと、生きること

永戸祐三

——日本における労働者協同組合づくり

I 事業団運動をとりまく周辺……………三六

1 雇用・失業問題の深刻化……………三六

2 失業対策事業廃止の意味……………三六

3 深まる政治・経済危機と事業団運動……………三七

4 事業団⇨労働者協同組合の発端……………三七

II 事業団運動の歴史……………三八

1 事業団運動の前身……………三八

2 事業団運動の創成期……………三九

事業団運動の創成期……………三九

民主的改革路線への取組み……………四〇

全国協議会の結成……………四〇

3 労働者協同組合運動へ……………四一

——中高年事業団の発展……………四一

失対の打切りと事業団……………四二

中高年事業団の前進……………四二

新しい画期をつくった直轄事業団……………四三

4	新しい労働者の参加の時期……………	一五
	——建設一般全日自労の単独のとりくみから全労働者による運動へ……………	
III	事業団Ⅱ労働者協同組合運動の現状……………	一五
1	全国的な到達点と今日の特徴……………	一五
	高齡者事業団……………	一五
	失対（高齡者）事業団……………	一五
	中高年事業団……………	一五
	直轄事業団……………	一五
2	事業団運営の原則とは……………	一六
3	団員の特徴……………	一六
	団員の意識と特徴……………	一六
	よい仕事を貫く——団員の願ひ……………	一六
IV	これからの事業団の課題と展望……………	一七
1	労働者協同組合員としての主体の確立……………	一七
	雇われ者根性の克服……………	一七
	運動・組織能力を高める——新しい労働者の参加を組織する……………	一七
	事業・経営能力を格段に高める……………	一七
	人材の育成……………	一八

2	生協・労働組合諸組織との提携・協力……………	一八二
	各地生協との提携——協同組合セクターづくり……………	一八一
	労働組合との提携——不安定就労層の組織化、下請化攻撃と関連して……………	一八三
3	町(街)づくり運動の本格的開始……………	一八五
4	雇用・失業保障闘争の強力な展開と国際的経験に学ぶ……………	一八六
	第四章 文化協同組合づくりへの道	
	是永幹夫	

はじめに……………一八六

——雇用と生活の不安のなかで

I	新しい生活・文化運動の模索……………	一八九
1	協同組合形態の可能性……………	一九〇
2	イタリアの「文化協同」の経験……………	一九二
3	「文化協同組合」研究会の発足……………	一九五
4	暮らしと文化と地域づくり——新しい合流点にむけて……………	一九六
II	「文化協同組合」への模索……………	二〇〇
1	現実的とりくみの進展……………	二〇〇
2	芸術生産共同体・わらび座の実践……………	二〇三
	おわりに……………	二〇六
	——展望の共有にむけて	

第五章 世界における労働者協同組合運動の新しい波 富沢賢治

- I 二一世紀を展望する協同組合運動……………二四
- II 労働者協同組合運動の評価……………二七
 - 1 協同組合運動の意義……………二七
 - 2 労働者協同組合運動の意義……………三〇
- III 労働者協同組合運動の現状……………三四
 - 1 世界の「生産協同組合」の現勢……………三四
 - 2 スペイン・モンドラゴンの急成長……………三六
 - 3 イタリア・レガの第三セクター的發展……………三六
 - 4 その他の欧米諸国……………三八
 - 5 日本における協同組合セクターづくり……………四〇

第六章 「協同組合労働」の理論と展望

芝田進午

- I 「協同組合労働」の社会的性格……………四六
 - 1 「協同組合労働」の本質……………四七
 - 協同的労働としての「協同組合労働」……………四七
 - 「共同体的労働」としての「協同組合労働」……………四八

	自由で平等な労働者の「連合」における労働としての「協同組合労働」	二〇八
2	「協同組合労働」と資本主義の矛盾	二〇九
	経済的民主主義のための労働としての「協同組合労働」	二〇九
	「労働の転換」をめぐる労働としての「協同組合労働」	二一〇
	賃労働を止揚する労働としての「協同組合労働」	二一一
	社会的な教育労働・文化労働・組織的労働としての「協同組合労働」	二一二
II	「協同組合労働」と現代民主主義	二一三
1	労働の民主主義、経済民主主義の一環として	二一三
2	協同組合運動における組織の原則とは	二一四
3	管理・経営・実務能力の形成	二一五
4	「協同組合労働運動」の重要な役割	二一七
5	労働組合運動と「協同組合労働運動」の交流・連帯	二一八
6	反独占民主主義	二一九
7	民主主義の徹底的な実現をめざして	二二〇
	あとがき（芝田進午）	二二五